

[明石市水道事業管理者への要求書]

2003年10月10日

自治労明石市水道労働組合

### 2003年度賃金・職場改善等に関する要求書

貴職におかれましては、住民の生活に欠かすことのできない地方公営企業の事業推進に日夜努力されていることに対して心より敬意を表します。

さて、私たち明石市水道労働組合に結集する組合員は、公共の福祉の向上、「住民のための公営企業の確立」に向けて取り組みを進めてきました。しかしながら、「効率・採算」を優先に「企業努力・行政改革」という名のもとに、人員削減や民間委託等が進められています。経費の削減については組合も反対していませんが、住民サービスの低下についての方策には賛成できません。水道事業も大変厳しい状況のときこそ、労使の協議と信頼が重要です。

つきましては、厚生労働省の「公有公営が原則である」という考えに基づき、行政が責任を持って水道事業を運営することを基本に、住民のための公営企業の確立と関係労働者が定年まで健康で快適に働き続けられる条件づくりにむけ、下記のとおり要求します。なお、誠意ある文書回答を要請します。

#### 記

1. 住民要望に適切に対応するため、業務量に見合った人員配置を行うとともに、退職、配置転換、その他の原因で生じた欠員については、正規職員で補充すること。  
特に、来年度の料金値上げに伴う問い合わせ等に対応できる体制を確立すること。
2. 第三者委託に道を開く水道法改正を口実にした安上がり・責任逃れの委託を行わず、直営で公的責任を果たすこと。また、現在委託を行っている事業については、委託の是非について事業の見直しを行うこと。
3. 来年度の人員配置について、各課ごとに協約を締結すること。(臨職を含む)

- 4．明石市水道事業経営改善実施計画並びに明石市行政改革実施計画において挙げられている諸課題について、事前協議制を充分徹底すること。また、協議事項については、組合と合意に達するまでは実施しないこと。
- 5．危機管理にかかわる予算を措置すること。
- 6．緊急修繕業務などについては直営による体制を確立することとし、その要員の確保をはかること。
- 7．水道事業の水質検査については4月より水質検査項目の増加されるのにあわせて、更に水質の安全確保と運転管理の適正化をはかるため、自己検査体制を確立すること。
- 8．鉛管の取替えを早急に進めること。そのために必要な財源などの措置については国及び県に働きかけること。
- 9．貯水槽水道については飲料水として適正な水であるように公的責任をもって監視体制の確立をはかること。
- 10．企業（一表）の中高年層の改善をはかるため5級年限昇格を実施すること。
- 11．企業（二表）の中高年層の改善をはかるため5級年限昇格を実施すること。
- 12．企業（二表）の中途入職者の賃金は18歳標準入職を基準とし、完全在職者調整を行うこと。
- 13．浄水場の祝祭日の勤務については、同様の交替勤務職場と同じにすること。
- 14．施設の改善等に関することについては、別途協議すること。